

釜口古墳(中郡大磯町)

右手の本通りから宅地への細い道を登って行くと、前方に説明板が立っている



釜口古墳は丘陵斜面に立地する終末期(7世紀末から8世紀初頭)築造の円墳とされる

神奈川県指定史跡

釜口古墳

昭和二十九年三月三十日指定

高麗山から南西に延びた尾根の東側鞍部に位置しています。江戸時代に編纂された『新編相模国風土記稿』の記載により、当時から開口しており、著名な存在であったことがうかがえます。

本古墳の築造時期は古墳時代後期に属しており、石室は大形の凝灰質砂岩製切石を用いて、切り組み積み手法により構築されています。現存する封土は石室をわずかに覆う程度であり、造営当初の墳丘形態は明らかではありません。

当地周辺に密集する横穴墓群の盟主的位置を占めた古墳であると考えられます。



昭和27年2月10日撮影
(神奈川県教育委員会所蔵)

平成二十二年三月

大磯町教育委員会



昭和27年2月10日撮影
(神奈川県教育委員会所蔵)

前方の別の説明板の先は斜面となっており、そこにネットフェンスがある



こちらが別の説明板と石碑



こちら「古墳」と刻まれているのが見て取れるが、全容は良く分からない



このネットフェンスに囲まれているのは釜口古墳の墳丘で、横穴式石室が開口している



南東に開口する両袖型の横穴式石室で、石材には凝灰質砂岩の切石が用いられ、切組積みなど高度な技術によって構築されている

 [video](#)



横穴式石室開口部/羨道部は既に無く、玄門より奥が残るのみ



須恵器や鉄鏃、スプーン状の小形青銅品などが出土したと云う



右上から石室の天井石を見たところ



少し退いて見たところ



背後から見たところ/前方には相模湾が広がっていた

 video



参考ホームページ

<https://kofun.info/kofun/710>

<http://tanbouki.tea-nifty.com/tanbou/2020/10/post-4e5cd6.html>

<https://pennihonshi.blog.fc2.com/blog-entry-1098.html>

<https://ameblo.jp/fuuka-usagi-kohu-hina/entry-12659664193.html>

<http://obito1.web.fc2.com/oiso.html>

